

夏

2015
SUMMER
平成27年発行

KUMAMOTO KOUSEN

今号の
テーマ

新入生を迎えて

Special Topic

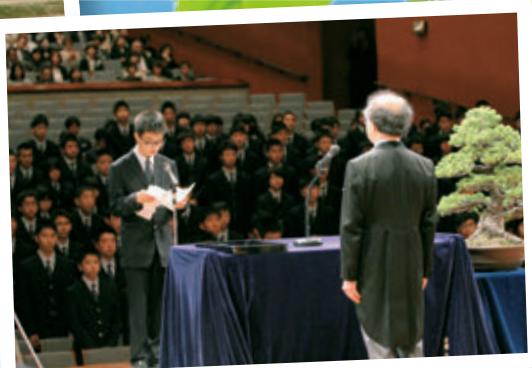
革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～

熊本高専だより

No.18

CONTENTS

- 01 卷頭のことば
校長より
後援会 会長より
- 02 新入生を迎えて
主事より
- 03 新入生から
熊本高専に入学して
- 09 学生たちから
学生会・寮生会より
- 11 人事異動
- 15 新年度を迎えて
センターより
- 16 諸だより
- 17 News & Topics



新入生を迎えて

校長
長谷川
勉



ください。豊富な実験や実習は知識を実践的なものとするうえで大いに役立つことでしょう。現代社会は常に変化し、科学技術は絶え間なく進歩していますが、しつかりとした基盤を持つた技術者であれば、努力によつて常に創造的な仕事を続けることができるはずです。

新入生、保護者の皆様へ

熊本キャンバス奨学後援会会長
田上 安二



志をもつて

八代キャンバス後援会 会長 小西涼司



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員、在校生一同心から歓迎します。

高等専門学校は、中学校卒業の15歳の段階から5年間、実践的かつ創造的な専門技術者の育成を目指して教育を行います。これは日本独自の優れた技術者教育制度として、国内だけでなく国際的にも高く評価されています。皆さんは、自らの進路選択に自信をもつて、勉強に勤め、そして学生生活を楽しんでもらいたいと思います。

しての英語の力、異なる文化と歴史を持つ人々と理解しあい、協力して仕事をする力、そして、そのための人間同士のつながりを創りあげる力が求められます。そのためには、英語に加え、カリキュラムではやや手薄となつてゐる歴史や地理そして国語も含め、是非自発的に勉強を進めしてください。

熊本キャンパス奨学後援会会長 田上 安
新入生の皆様、並びに保護者の皆様、ご
入学おめでとうございます。また、奨学後
援会総会へご参加いただきまして誠にあり
がとうございました。

季役員会や八代キャンパス後援会との懇談会などによる意見交換を行い、皆様の様々なご要望を集めて参ります。是非、クラス役員を通じ積極的なご意見をお寄せ頂ければと思います。

難問の入生を詰馬を見事に突破され、角力の専門に入学された皆さんに対し、心よりお祝いを申し上げます。

技術者に必要な基礎学力と専門学力を5年間で身につけるため、カリキュラムは極めて密度の濃いものとなつて

高専では、寮生活、クラブ活動の活動を重視しています。積極的に参加してください。社会人として必要とされるコミュニケーション能力、リーダーシップやチームワーク力は、これら活動に参加し多様な学生とふれあい、切磋琢磨するなかで養われるものです。

後期も、オーランギヤンバスでの高専志望者への「相談コーナー」の実施、皆様からお寄せいただいたご要望などの学校への提案など、当後援会が学生の皆様やご家庭

皆さん、心身ともに健康で充実

活の一助となるよう様々な活動を行つて参ります。

保護者の皆様、後援会は高専の教育事業を

変だと思うことでしょう。しっかりとした基礎があつて初めて、その上に創造的な新技術の花を咲かせることができます。若い柔軟な頭脳に限界はありません。知識をどん欲に吸収して

優れた技術者になるという高い志を持つて、大きく成長してくれることを願っています。

今後とも後援会活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

保護者の皆様、後援会は高専の教育事業を援助し、協力するとともに会員相互の親睦を図ることを目的に活動しています。今後ともご理解ご協力を宜しくお願ひ致します。

自ら学ぶ



教務主事(八代キャンパス) 下田 貞幸

今年度は本科255名、専攻科45名の新入生を迎えました。1年生は高専生活には慣れましたでしょうか。全く新たな環境でしうが、自分のペースを早く掴み、楽しく且つ厳しくより高い目標を目指して頑張ってください。我々も学生達と共に、魅力的な特徴ある教育活動を推進したいと考えています。

さて、高専は自分の専門の勉強に打ち込み、好きな分野を極めることができる学校です。その教授法は、試験に出るポイントを噛み碎いて解説するのではありません。従つて学生は、目標を持つて自ら考え自ら行動し自ら学ばなければなりません。その上で学習内容を経験を通して定着させ応用する力を養うために、国際社会や地域社会の中での実践的な活動も活発に行っています。学生も教員も「教える」から「学ぶ」への転換が必要です。学生の皆さん、「自ら学ぶ」をキーワードに高校生活を充実したものにしましょう!

新入生よ、屋根の梁を高く上げよ



学生主事(熊本キャンパス) 大石 信弘

この原稿が皆さん的手元に届く頃、周囲の学校は夏休みに入っていると思われます。入学式から早や4か月、期待と不安、喜びに満ち、充実した高専生活だったと思います。でも卒業まであと5年、専攻科に進めばあと7年も残っています。

7年にわたる物語といえばハリーポッターがあります。この物語と高専生活には似ている所があります。この物語と高専生活には似ている所があります。

7部にも及ぶ長い物語に多くの読者が引き付けられ、最後の1ページまで読むことが出来るのは、初巻「賢者の石」の世界観の提示が見事だからだと思われます。皆さんの高専生活もこの先長いようですが、実は1年生での方向性や、自分の価値観が今後の高専生活の良し悪しを決定づけているのです。

この夏休みを利用して、入学からの4か月が皆さんの夢の実現により方向で寄与していたか十分検討して、卒業までの物語の導入を確立してください。

ストレスとレジリエンス



寮務主事(八代キャンパス) 小林 幸人

多くの新入寮生を迎え、今年度も寮生活がスタートしました。全く異なる生活環境に身を置いたみなさんも、ようやく慣れてきたころではないかと推察します。

寮生活は集団生活ですから、新入寮生はストレスを感じることもあるでしょう。しかし、そこから学ぶこと、成長できることも多いはずです。

最近、「レジリエンス(復元力、抵抗力)」という言葉を耳にすることが増えました。環境変化や外的ストレスに対応できるようになることは、将来自律するための重要な力だといえます。寮生活を通じて、みなさんの「レジリエンス」を發揮、さらに伸ばしていかれることを期待しています。

寮生役員会と協力しながら、私たちもみなさんのが成長をサポートしていきますので、よろしくお願いいたします。

◆熊本高専に入学して



情報通信エレクトロニクス工学科
笹原 瞬
(1年)

私は熊本高専熊本キャンパス情報通信工レクトロニクス工学科に入学しました。入学当初は不安と期待が入り混じっていましたが、日が経つにつれて徐々に高専に慣れていくことができました。

そして、高専には研究に必要な最新機器も多く揃っており、学生がやりたいことを自由にさせてくれる学校であることに気が付きました。

しかし、自由であるということは、同時に責任も伴ってきます。私は当

初、高専は専門知識が身につくところだと思っていましたが、「自律性」が身につく場所であるということも知りました。「自律」は、社会人になるためには必要不可欠であり、自分をコントロールするのも重要です。

「自由の隣には責任がある」

この言葉を胸に、自由な校風の高専を上手に活用していくたいと思います。また、责任感も持ち、自由との両立を頑張りたいと思います。



私たちが高専に入学して
早くも2ヶ月がたとくとして
います。不安と緊張でいっぱい
いだつた入学式と比べ、今の
生活は、あの頃考えられな
かつたほどに充実していま
す。

をしたりレポートを書いたり
大変ですが、おもしろいです。
高専では部活動にも集中で
きる環境が整っており、文武
両道を目指に頑張っています。
部活では、ハードな練習
メニューのときもあります

クラスにはたくさんの友達ができました。毎日学校に行くとき、友達と話したり、はしゃぎだりするのがとても樂しいです。

これからの中高専生活では、今まで以上に多くの場でたくさんのこと学んでいきたいです。そして、いずれは、社会に貢献できるような技術者になれるよう、日々努力していきます。



生物化学システム工学科
本山 明香里
(1年)

◆合宿研修に参加して



制御情報システム工学科
澤田 賢太郎
(1年)

私は二日間合宿研修に参加し友達と協力たくさんことを学んだ。今回の合宿研修の目的は「自主性・自律性をもつた高専生活を送ろう」だ。それは自分たちで考え自分たちで動くということである。

たとえば私たちが行つた活動のウォーキングやマリン活動では自分ひとりの力だけでできたものはない。特にマリン活動では自分一人では漕げない船を全員で声をそろえて漕いだ。これは一つの同じ目標に向けて全員で協力したということである。

またこれらのこととは今回合宿研修に限らず高専生の中でも「自分たちで考え、自分たちで行動し、より良い学校を作っていく」必要がある。それが今回の目的である、自主性、自律性ということだと私は思う。

合宿研修を通して友達と一緒に活動では自分ひとりの協力を仲がより深まつたので、今回学んだ自主性、自律性をもつて勉強や学校行事に取り組み、よりよい高校生活が送れるようになります。だから過ごしていきたいと思う。



研修初日はハイキングがあり、初めて話をする人が何人もいて、友達の数が増えていくことが実感できました。趣味や中学時の話などをしているうちに、目的地の塚原古墳公園に到着しました。大変なはずの道のりでも、友達がいると楽しく行けるのだと思うと、このハイキングの目的が分かったような気がしました。

その日の夜の研修でも初めて話す人がいて新しい友達ができました。内容はストローラワーの高さを競うものでしたが、私の班はデザイン重視で作りました。それはそれで楽しくやれ、

研修一日目の班活動では、初めて建築社会デザイン工学科以外の友達ができました。紙に書いた内容で話が盛り上がり、より一層、お互いのことを知ることができました。

研修の翌日、友達から最初の印象と違い、話しやすい人だったと言われました。この研修を通して、本当に自分の自分を周りの人につけてもらえたことは、今回の大きな成果だと思いまし

◆豊野研修を振り返って



建築社会デザイン工学科
福岡 直季
(1年)

研修初日はハイキングがあり、初めて話をする人が何人もいて、友達の数が増えていくことが実感できました。趣味や中学時の話などをしているうちに、目的地の塚原古墳公園に到着しました。大変なはずの道のりでも、友達がいると楽しく行けるのだと思うと、このハイキングの目的が分かったような気がしました。

その日の夜の研修でも初めて話す人がいて新しい友達ができました。内容はストローラワーの高さを競うものでしたが、私の班はデザイン重視で作りました。それはそれで楽しくやれ、

◆初めての クラスマッチを終えて



人間情報システム工学科
鶴田 あおい
(1年)

初めてのクラスマッチは、試合が始まると正々堂々と戦うことが出来ました。また、二日目には、前のみに出席しました。一日目に私は、女子ドッジボールは、充実した二日間でした。

私は、女子ドッジボールの試合が午後からの予定だったため、午前中は男子が出席するバレー、ボーラーの試合の応援に行くことにしました。試合が始まると、私のクラスは終始劣勢でした。しかし、クラスメイトたる間に、一生懸命ボールを繋ごうとする姿に、パワーをもらいました。そして、いい試合が始まりました。先輩方との試合のため、最初は少し緊張してしまいました

が、試合が始まると正々堂々と戦うことが出来ました。また、二日目には、前日に私が応援に行つたバレー、ボーラーの選手が応援に駆けつけてくれて、とても嬉しかったです。優勝こそ逃しましたが、優勝以上の達成感を味わうことが出来ました。



◆クラスマッチに参加して



機械知能システム工学科
谷口 静香
(1年)

今回のクラスマッチは、私たち一年生が初めて参加したものでした。私は、この行事を通してたくさんの中学校までは、クラスマッチは同じ学年の人と勝負をしていて、上級生の方と勝負する高専のクラスマッチは初めはとても不安でした。しかし、試合が始まると、そのような不安はすぐに無くなりました。試合が始まりました。これからも、このクラスマッチでの一体感を忘れず、みんなで協力しながら、高専生活を楽しんで過ごしていきたいです。

今回のクラスマッチで、仲間との絆が、さらに深まつたように感じました。これからも、このクラスマッチでの一体感を忘れず、みんなで協力しながら、高専生活を楽しんで過ごしていきたいです。

したが、悔しさよりも楽しめたという方がはるかに大きかったです。

また、クラスマッチを通して、今まで話したことのなかった人ともたくさん話すことができました。お互いのことを知る良い機会になりました。

今回もなつたと思います。

は、初めてだからこそ思い出に残ったものもたくさんあります。次回のクラスマッチでも、また新しい経験や思い出ができるば良いと思います。

◆専攻科に入学して



電子情報システム工学専攻
倉永 康博
(1年)

この春、本科を卒業して専攻科に入学しました。これで熊本高専に通うのも六年目になります。本科を卒業して就職した同級生、大学に進学した同級生は新しい環境で日々奮闘していることでしょう。周りからの新しい刺激を受けて得られることは多いと思います。

現在、私は大学院に進学しようと考へており、専攻科の二年間はそのための準備期間だと考へています。大学院やその後の舞台で戦つ周りの環境が大きく変化する、といついためにも、時間を有意義に使うことはありませんが、本科五年生での研究を継続できることは専攻科の強みだと感じています。また、専攻科の授業は殆どが選択科目で、必要な単位数を取得すればよいため、多くの面で自由度が高まりました。私の含め、多くの専攻科生が、興味のある分野を中心として、必要な単位を一年生の間に取得できるように授業を選択しています。空い

た時間は更に深い内容の学習や研究などに充てることができます。現時点では、無駄にしている時間が多ないので、生活を見直していくことを思っています。

現在、私は大学院に進学しようと考えておらず、専攻科の二年間はそのための準備期間だと考へています。大学院やその後の舞台で戦つ周りの環境が大きく変化する、といついためにも、時間を有意義に使い、土台を固めていきたいです。

最後に、これまで学業や研究について語りきをおいて…ということを話していましたが、私自身、まだまだ自分に甘く、一人では頑張りきれません。ないことも多いです。専攻科一年生の人数は少ないので、互いに良い刺激を与え合いながら頑張つていけたら良いなと思っています。

◆専攻科に入学して



生産システム工学専攻
重田 侑馬
(1年)

専攻科に入学して早くも2ヶ月が過ぎました。何かと慌ただしく、一日があつという間に過ぎていきます。やはり本科生のときに比べ専攻科生になると求められるものも高度になります複数の問題をこなしていく力が要求されます。

専攻科に入学する前に、「やるべきことは何かを見極める力をつける」という自分なりの目標を掲げていました。以前から自分の行動は効率が悪いという話を周りから聞くことが多く、実際に色々な課題の取り組みで苦労していたので気にしつつも、その場を何とか切り抜けていたのでそれ程深く考えていませんでした。あるとき課題を先生に見てもらつた際に、「この問題点に対し、こうだから、こうなる。という筋道が通つてない。周りから何が必要なのか読み取る力をつけていきましょう。」と

いう話を受けたことがあります。このとき思ったのが、今までの自分の取り組み方では、効率が悪いだけではなく物事を思考する際にうまく考えが組み立てられないと気づきました。技術者として社会に出ていくために、物事を見極める力は、必要なスキルだと思います。専攻科生としてスタートしてからはよりそれを強く感じています。やりたい事と、やるべき事のバランスが全然取れていなかったです。

そんな時に周りに相談できる同級生がいることはとても大切だと痛感しました。一人で悩んでいても解決しないけど、周りからの支えがあるととても力になります。2年間という短い間ですが、周りのみんなと切磋琢磨できる関係を築きながら充実した学校生活を送れるようこれから頑張つていきたいです。

◆熊本高専に入学して～新入留学生より～



人間情報システム工学科
バラタ・トゥリプラムディヤ・オンゴ
(3年)



建築社会デザイン工学科
グルバヤル・タミル(3年)



生物化学システム工学科
ビリー・プラセティオ(3年)

初めて、私はインドネシアから来ました。一年間東京で日本語を勉強して今年、熊本高専に進学しました。インドネシアに居た時、日本のすぐれた技術に憧れて日本へ留学するのが夢になつたのです。

文部科学省が募集した留学制度に応募するとき、大学へ行くか高専にするか初めは選べませんでした。ネットで情報を検索したり、大使館の人相談したり、先生や両親に聞いた上で、高専に入学しようと決心しました。

大学より高専を選んだ理由はいくつかあります。一つは高専では講義に加えて、技術に実際に触れたり、実験したりして、すぐ社会生活への応用がきくからです。卒

業後も就職を始め専攻科や大学に進学する道が開けます。またロボコンやプロコンなど高専ならではの大会があつて、魅力的でした。

文部科学省の選考に合格が発表された時、嬉しさとともに勉強や生活の不安がありました。しかし、今はもうその不安はありません。なぜなら、熊本高専では先生方も優しいし、友達も皆賢くて、生活や勉強に困ったときにも助けてくれるからです。つまり、自分自身を高めるのに良い環境と言えます。

今の私はまだまだですので、勉強や部活をもつと頑張ろうと思います。そして高専での毎日を楽し生き生きと過ごしていきたいです。

進学先を悩んでいるあなたたち、また、日本に留学したいあなたたちへ。熊本高専はあなたたちを歓迎します。

僕たちは今年の四月に熊本高専八代キャンパスに入学しました。日本人の学生たちと一緒に授業を受けるのは楽しいです。皆が優しく歓迎してくれます。僕たちは入学したばかりのとき、様々な問題がありました。が、日本人の友達や先生方が助けてくれました。

日本語能力も上達しています。高専は大学と比べ留学生が少ないため、まるで日本人のように生活しております。

このままでいいのですが、高専は大学と比べ留学生が少ないため、まるで日本人のように生活しております。

熊本高専八代キャンパスには機械知能システム工学科、建築社会デザイン工学科、生物化学システム工学科の三つの学科があり、深い知識や技術が得られます。学校を選んだ理由はいろいろあります。たが、技術レベルが僕たちにとつて第一優先でした。熊本高専に来てから予想以上に多様な技術を高いレベルで学ぶことができ、自分の選んだ道にもっと興味を持つようになりました。

技術に少しだけでも興味があるなら、熊本高専はその興味を育てる一番適当な所だと思います。あなたたちと一緒に勉強することを楽しみにしています。

◆熊本高専に編入して



機械知能システム工学科
シュー・ベイフェン
(3年)



生物化学システム工学科
タン・チンティン
(3年)

そろそろ夏です。私達はマレー

シアから来た留学生、チンティンとベイフェンです。四月に熊本高専に入学してから、2ヶ月ほど経ちました。高専で勉強した時間はまだ短いですが、学校について色々な良い印象を持っています。

私達はマレーシアでは都市部に住んでいたので、普段はあまり自然に近づくことがありません。熊本高専は周囲の環境が良く、緑がいっぱいあります。熊本高専の授業内容は他の高専と比べてもレベルが高いように思いますが、このような環境は学業にも良い影響があると思います。

私達は学校の寮に入つて他の日本人学生と一緒に生活をしています。寮は学校にあるので毎日歩いて教室へ行きます。授業時間以外

に友達に会う機会が多くなって良い仲間が作れます。その上、パソコン室、食室、会議室、冷蔵庫などが設備が整っています。寮のインターネット接続は速くて便利で、パソコン室でウェブクラスで勉強ができます。寮生活は点呼などのルールがありますが、長い目でみるといい訓練になるのではないかと思います。

これまでのところ、様々な新しいことが体験できたので、学校生活はとても楽しいです。今後も新鮮な感覚を持って、面白い生活を楽しみに過ごしたいです。私達は皆さんと友達になりたいと思つています。一緒に頑張りましょう。

一度高校を卒業していることもあって、少し不思議な感覚であります。大学とはまた違った学生生活が始まって、もう二ヶ月が経とうとしています。本当にあつた間に過ぎてしまいまし

た。つい数日前に入学式があったような、そんな気がしてなりません。それだけ毎日充実しているし、ほぼ毎日課題にも追われています。それを大変できつといと感じることもしばしばですが、本当に編入してよかつたと心から思っています。この学校は、私のやりたかったことや、学びたかったことで溢れています。ですから毎日を楽しく過ご

すことが出来るのです。もちろん、簡単に理解できるような授業ではなく、工業高校の授業を受け慣れていた私にとって難しそうくらいです。授業内容が理解できず、このままではまずいと思つてしまうことも多々あります。ですが、高専には優しい友人が沢山いて、その友人達の助けを借りながら内容理解に努めています。クラスメイト

方々に対してもださっているや関わってくれる感じでいっぱいです。



制御情報システム工学科
上村 祐斗
(4年)

学生たちから

◆学生会長としての半年を振り返って



熊本キャンパス 学生会 会長

伊藤 宏志

- ・玄関付近の花植え等の美化活動等。多方面で活動し、既に結果が出始めています。

新年度が始まり、はや数か月。校内に咲いていた桜の木々も、気づけば新緑の葉が生い茂っています。四月に入学した新一年生の皆さんもすっかり校内の雰囲気に馴染み、改めて平成二十七年度の始まりを感じている私たちです。

さて、そんな私達ですが、新生会が発足した一月から、これままでないレベルのスピード感で活動を行っています。これまでの活動の成果を箇条書きにして報告します。

- ・毎朝の挨拶運動の徹底
- ・Facebookを利用して学生活動の周知
- ・大学コンソーシアムへの参加
- ・ネパール地震の募金活動
- ・クラスマッチや学生総会の運営
- ・卒業生への卒業記念DVDの作成
- ・九州高専交流会等の他高専との交流
- ・梅ちぎり等の地域住民との交流

反響があり、ページへの「いいね」の数は約100件に到達、投稿の閲覧数に至っては毎回2000人近くの方々に見ていただいています。

また、四月に発生した不パール大地震への募金活動も地震発生後数日以内に行い、日本赤十字社へ義援金を届けました。こういった取り組みは校外にまで熊本高専の名前を届け、学生会活動の周知に大きく貢献しています。

さらに、後期に目を向けるとまだまいくつか大きなイベントが残っています。茨城で行われる全国高専交流会や電波祭、そして十二月に行われる学生会長選挙。自身の会長としての任期も残り僅かになる中で、学生会として学生のためにまだやり残したことがないか、しっかりと考え、実行していきたいと思います。

◆充実した学生会活動



八代キャンパス 学生会 会長

永野 蓮太

そしてこれから高専祭という一年間の高専生活で最も盛り上がる行事があります。高専祭実行委員会で学校行事を学生会として担当させてもらいました。まず、対面式、春季文化発表会です。緊張した様子で入場していた新入生でしたが、各部活動の趣向を凝らしたパフォーマンスや映像を見ていく中で自然と新入生に笑顔が見られ、楽しんでくれたのではないかと思っています。

次に、5月に行われた球技大会です。当日は快晴でした。しかし、前日の雨により野球が中止、ドッヂボールがドッヂービーに変更となりましたが、みんな楽しんで競技をがんばっていたのではないかと思います。なにより今年度から団体競技として取り入れた綱引きは何もかもが初めてで、運営等で学生の皆さんに迷惑をかけてしまったと思いますが、無事成功さ

せることができました。学生の皆さんに感謝しています。本当にありがとうございました。各クラスがひとつになつて勝利を目指し、みんながんばる姿、はしゃいで笑う姿、勝つてみんなと喜ぶ姿、これが団体競技の醍醐味だと改めて教えてもらうことができました。



◆明和寮より



熊本キャンパス 明和寮 男子寮寮長

田中 光太

今年度は40名以上の新入生を迎えて、約160名の例年以上に賑やかな寮となりました。

4月には毎年恒例の新入生歓迎ミニバレー大会＆バーベキューを行いました。今年は出身中学校をもとに地元がなるべく近い人同士で縦割り班を組みました。ミニバレーでは、リーグ後半ともなるとレクリエーションを越えた白熱した試合がみられました。バーベキューでも、地元トーキーで盛り上がり、普段あまり話さない人と話ができるたり、学年問わずにみんなが楽しむことができたと思います。

6月には、明和寮としての新たな試みである「寮祭」を企画しています。学年ごとに焼きそばや流しそうめん等のブースを担当してもらい、射的などお祭り的要素を

加えたイベントです。また、7月には七夕イベント、8月には肝試し、というようにイベント委員を中心毎月イベントを企画し、寮生同士の交流を深めています。

生活に関しては、寮生の人数が増えたこともあり、今まで通りではうまくいかないところが多くあります。日々改善点が生まれます。より生活しやすい環境を目指して、生活委員を中心に仕組みの改善・下級生への指導を行っています。

寮生だからこそ得られる、共同生活の中での社会的経験や仲間との思い出。「寮生」ってかなり得だと私は思います。寮生それぞれが学校を卒業するとき、あるいは将来熊本高専時代を振り返るとき、「寮生でよかつた」と誇れるような寮を作っていくたいです。そして、そんな方向性を次期寮生会に受け継げたらと思います。



◆八代キャンパス 八龍寮



八代キャンパス 八龍寮 寮長

原田 導護

こんにちは。八代キャンパス八龍寮寮長の5年建築社会デザイン工学科原田導護です。

3月に先輩方が卒業され、2ヶ月が過ぎました。5年生は、就職活動や研究に追われる日々が続いており、残りの学校生活を有意義に過ごさなければ感じています。

さて、本年度の八代キャンパス学生寮は、72名の1年生と4名の留学生を迎えるました。4月に歓迎夕食会、球技大会を実施し、食事とスポーツを通して交流し親睦を深めました。入寮日には表情も硬く緊張した様子の1年生も、友達もでき始めリラックスしていたようです。まだ環境の変化に慣れていらない1年生もいますので寮役員、寮務委員を中心にサポートに務

めたいと思います。

私自身、下級生の頃は自由な時間が多いため通学生に憧れていますが、現在はまったく違います。学業面では、十分な睡眠時間が確保時間もあるため、しっかりと勉強することができます。生活面では、

300人を超える集団生活を通じて、基本的な社会のルールを学べます。また他人との共同生活を通じ、性格的に岡太くなりますが、これは社会人にとって、重要なことです。

最も重要なのが仲間、友達です。よく「高校、大学時代の友達は一生もの」といいます。5年間も共に生活すれば、何年経っても助け合い、笑いあえる友達が出来るはずです。寮はルールを守り、他人への気遣いができるとしても楽しいところです。新入寮生にはできる限り卒業まで寮で生活を送っていただきたいと思います。

私の寮長任期もあと数か月で終了ですが、自分の出来る範囲で最後まで責務を全うしたいです。

熊本高専に赴任して

熊本キャンパス 共通教育科 菊池 耕士



四月より、共通教育科（数学）に着任致しました菊池耕士と申します。専門は、数学の関数解析で、量子測定を応用することで我々が日常用いる「確率」概念の再構築を研究しています。また、仕事ではスマホアプリ・ログの多変量解析や、公民館支援を通じた高齢者へのパソコン・ネット指導などを行つてきました。これまでの経験を活かし、授業以外にも、数理研究の応用やコンピュータ活用の楽しさについて紹介できたらと思つています。

初めての熊本に不安もありましたが、風土、人柄、文化、そして何より熊本高専のエネルギーッシュな校風に触れ、ワクワクした日々を送っています。私もこれから本校の教員として、勉強、研究、学校生活の辛さと楽しさを伝え共有していくよう、学生と共に日々精進したいと思つています。どうぞ宜しくお願ひ致します。

熊本高専に赴任して

制御情報システム工学科 橋本 幸一郎



四月より、制御情報システム工学科に赴任しました橋本です。前々からの夢であった教員になることができ、大変嬉しく思う反面、これから新しい人生が始まるのだと身が引き締まる思いでもあります。

教員という初めての職業で、まだまだ不慣れな点が多くありますが、周りの教員方や学生に助けられる日々の中過ごしております。特に熊本高専の学生は自立性が高く、関心と感謝の毎日でございます。

初めての職場は学生なしには成り立ちません。すなわち、我々教員は学生たちに支えられています。私もこれから本校の教員として、勉強、研究、学校生活の辛さと楽しさを伝え共有していくことを志し、この度ご縁がありまして、熊本高等専門学校八代キャンパスに着任することができます。本校では、ロボットの制御方法に関する研究を取り組んでおります。

熊本高専に赴任して

機械知能システム工学科 松谷 祐希



四月より機械知能システム工学科の助教として着任いたしました、松谷祐希と申します。学生時代は、制御工学・ロボット工学を専門に学んできました。私が学んできた制御工学などの楽しさを学生に伝えることができればと思い、教員になります。

とばかりに戸惑うことが多い、いろいろとご指導いたくことが多々あるかと存じます。しかしながら、研究や授業、部活動（バスケットボール部）を通して、本科生・専攻科生が卒業後、立派なエンジニアとして活躍できるよう精一杯尽力していくないと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

思います。

熊本高専に赴任して



機械知能システム工学科 柿ヶ原 拓哉

この度、機械知能システム工学科の助教として八代キャンパスに着任しました、柿ヶ原拓哉（かきがはらたくや）と申します。

私はこの3月に神戸大学大学院を卒業したばかりで、まだまだ分からぬことだらけではあります、少しずつ教育や研究について学んでいます。

また私は旧大阪府立工業高専の卒業生でもあり、高専の良さというものを体感してきました。その中でも特に、五年間の一貫教育により、大学入試という大きな障害にせかされることなく、のびのびと専門分野について学ぶことができることは大きいと感じています。その有意義な時間をより意義のあるものにできるよう、これから私も熊本高専の一員として、皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

民間企業からの転職



建築社会デザイン工学科 松家 武樹

今年度の四月より、建築社会デザイン工学科に着任しました、松家武樹（まつかたけじゅ）と申します。専門はコンクリート工学・建設材料学です。

三月までは、八年間在籍した民間企業（ゼネコン）に勤務していました。八年間の内、四年間は研究所（茨城県つくば市）、一年間は橋梁上部工の建設現場（広島県呉市）、三年間は建設構造物全般を設計する部門（東京都港区）の業務に従事しておりました。この八年間で建設に係わる一通りの経験をしてきました。

高専在学中は吹奏楽部に所属し、課外活動や学生会と忙しい毎日を過ごしました。大勢の仲間と一緒に上げる演奏や、高専祭や球技大会の裏方役、作り上げる演劇など：時には辛く大変な時期もありましたが、今ではどれも良い思い出です。自分に与えられた環境の中で「どうしたら楽しいかな」といつも考えていました。これから学生の皆さんと一緒に、決して「楽」ではない、「楽しい」時間を一緒に過ごせたらと思っています。

今しかできない楽しい時間を



建築社会デザイン工学科 川口 彩希

私は本校建築社会デザイン工学科（当時は八代高専の土木建築工学科）の卒業生になります。本科を卒業後、専攻科に進学し、熊本大学の大学院（修士課程2年間+博士課程3年間）で建築、主に都市計画という分野を学びました。高専在学中の頃より「いつか母校に教員として戻ってきてみたい」と思い続け、言い続け…やっと夢を叶えることができました。言葉にして言い続けることって、とても大切なのかもしれません。

害虫か益虫か。 見方次第で変わるモノ



生物化学システム工学科 木原 久美子

嫌われ者、害虫シロアリ。その研究をしていると言えば、悪者撲滅の勢いで会話が弾み出します。いえいえ、ちょっと待って。私は益虫シロアリの研究もしています。シロアリが木材をどうやって分解するのかを解明し、バイオエタノールの高効率生産に活かす為です。同じシロアリでも見方が違えば言われようも変わってきます。

また、人を含むほとんどの生物は、他の生物同士の融合体ですが、自分の細胞の中に別の生物がいるなんて意識しませんよね。生物がそのように進化する仕組みはまだ分からぬ事だらけです。

共生進化の好例であるシロアリ腸内の微生物には、生物の進化を解明するヒントが潜んでいるのです。

これまで東京工業大学や理化学研究所で行つてきたこうした研究を発展させ、学科名が表す通り、生き物が生きている状態（システム）に、普遍的に存在する原理を解明し、社会に活かす研究を続ける予定です。

熊本高専に赴任して



生物化学システム工学科 古賀 晴香

四月より八代キャンパスに赴任致しました、古賀晴香と申します。

三月に大学院を卒業したばかりの新卒です。これまでは教員の指導のもと研究を行つて参りましたが、これからは学生を指導する立場となり、大変身の引き締まる思いです。

大学では、ヒトやラットなどの動物細胞を使つて、生体外で臓器を作ることが出来ないか？という研究に携わつてきました。しかし、高専着任という、様々な分野の先生方、そして学生さんに出会うチャンスを頂いたので、他分野にも挑戦していきたいです。一人前とは言えませんが、研究者としての新たな目標です。

ご縁があつて新たな地・八代で、そして高専で教員としての生活がスタートし、日々発見の連続です。教えながらも「学ぶ」姿勢を忘れない教員でありたいと思います。よろしくお願ひ致します。

再び熊本高専へ

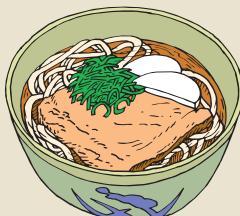


八代キャンパス 共通教育科 東田 洋次

香川高専詫間キャンパスからの異動で今年四月に赴任しました。熊本高専も二年ぶり二度目の勤務ですので「初めまして」というより「お久しぶり」です。皆さんいかがお過ごしでしたか。私はどこにいても仕事を通して科学の面白さを次世代に伝えようと、忙しい日々を送っています。また、マラソンやトレイルランの大会に参加するなど、趣味も充実させるよう心がけています。（写真は瀬戸内海に面した風光明媚なキャンパス近隣を走る私です。）若い皆さんも、やりたいことはチャレンジしないともつたいない。勉強でも他の

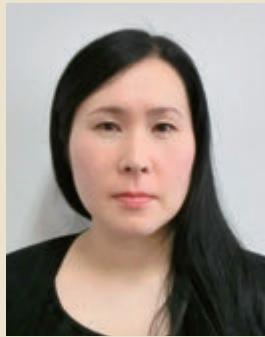
ことでも、皆さんのが充実した高専時代を送れるように応援します。

どうぞ気軽に声を掛けしてください。



在外研究より戻つて

八代キャンパス 共通教育科 岩下 いずみ



平成26年4月より1年間、イギリスのヨーク大学に在外研究員として滞在し充実した生活を過ごすことができました。具体的には大学の研究室、図書館などを利用しながら自分の研究分野である文学研究に勤しむ生活でした。その間各地での学会やワークショップ、サマースクール、読書会、講義、語学系授業などに参加して知見を広げ、論文を執筆し発表もさせていただきました。出席した学会等は大変アツトホームかつオープンで、様々な背景の方とお近づきになることができたのも良い思い出です。また職場を離れてみてそのありがたみや温かさにも改めて気づかされた一年でした。不在中は職場の方々に多大なるご迷惑をおかけしていたと思いまますので、これから少しでもまた高専に貢献できますよう研究、教育、校務に励む所存です。



転入者等一覧

【学外からの異動】

氏名	所属・職名	前任地
東田 洋次	共通教育科・准教授（八代C）	香川高等専門学校・准教授
愛場 優治	事務部長	呉工業高等専門学校事務部長
内山 慎一	総務課長	九州工業大学総務課長
浦口 健一	学生課長（熊本C）	佐世保工業高等専門学校学生課長
出良 真	総務課総務係長（八代C）	熊本大学医学部附属病院事務部総務人事ユニット総務係長
大村 渉	管理課施設企画係長（八代C）	熊本大学運営基盤管理部施設管理ユニット主任（電気設備担当）
加賀 悠貴	総務課主任（人事労務係）（八代C）	熊本大学運営基盤管理部総務ユニットスタッフ（企画チーム）
前田 友美	総務課主任（庶務係）（熊本C）	熊本大学教育研究推進部生命科学系事務ユニットスタッフ（医学事務チーム）
志柿 恵美	管理課主任（契約係）（八代C）	熊本大学教育研究推進部契約ユニットスタッフ（旅費謝金担当）
宮崎 和美	学務課主任（学生係）（八代C）	熊本大学学生支援部学務ユニット主任（教育支援チーム）
永水 友博	学務課主任（学務係）（八代C）	熊本大学教育研究推進部生命科学系事務ユニット主任（薬学事務チーム）
小野川 勇二	総務課員（研究推進係）（熊本C）	熊本大学マーケティング推進部地域連携ユニットスタッフ
白石 千尋	管理課員（財務係）（八代C）	熊本大学教育研究推進部生命科学系事務ユニットスタッフ（薬学事務チーム）
平田 明子	学生課員（学生支援係）（熊本C）	熊本大学マーケティング推進部国際戦略ユニットスタッフ（国際人材交流チーム）
清田 庸子	学生課員（教務係）（熊本C）	熊本大学教育研究推進部自然科学系事務ユニットスタッフ（人事担当）

H27.7.1 現在

【キャンパス間異動】

氏名	所属・職名	前任地
赤石 仁	人間情報システム工学科・准教授（熊本C）	共通教育科・准教授（八代C）
黒木 憲二	総務課員（企画係）（八代C）	総務課員（研究推進係）（熊本C）

【新規採用】（※非常勤職員については、週20時間以上勤務者のみ掲載）

氏名	所属・職名	前任地
菊池 耕士	共通教育科・助教（熊本C）	
橋本 幸二郎	制御情報システム工学科・助教（熊本C）	
松谷 祐希	機械知能システム工学科・助教（八代C）	
柿ヶ原 拓哉	機械知能システム工学科・助教（八代C）	
松家 武樹	建築社会デザイン工学科・助教（八代C）	
川口 彩希	建築社会デザイン工学科・助教（八代C）	
木原 久美子	生物化学システム工学科・講師（八代C）	
古賀 晴香	生物化学システム工学科・助教（八代C）	
大島 圭代	管理課員（契約係）（八代C）	
村田 保子	学務課学生寮指導員（八代C）	
立花 訓子	学生課学生寮指導員（熊本C）	
岩本 郁子	学生課事務補佐員（熊本C）	
村上 明日加	学生課技術補佐員（看護師）（熊本C）	
青山 恵	学生課技術補佐員（看護師）（熊本C）	
宮崎 達宏	地域イノベーションセンター事務補佐員（熊本C）	

新年度を迎えて



ICT活用学習支援センター
センター長
藤本 洋一



PBL・総合教育センター
副センター長
上土井 幸喜

新年度を迎えて ICT活用学習支援センター

おもしろサイエンス・わくわく 実験講座2015

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ICT活用学習支援センターでは、ICTを皆さんのが勉強に役立てるためのお手伝いをしています。さて、学生の皆さんには、高専を選んだ時点では将来はエンジニアを想定していると思いますが、いかがでしょう？

ICT活用という関連で、熊本キャンパス放送部の「こうし3Pro！」放送局 on Us stream を紹介します。前回の「旅立ち」をテーマにした放送は進路の話題を取り上げられています。アーカイブも公開されています。

すでに学生の皆さんもご承知と思いますが、最近注目を集め始めているIoTと呼ばれる仕組みがあります。IoTはバーチャルと言われたりしますが、現実世界のモノづくりに直接つなげることを実現しようとしています。皆さんの未来は、ますます興味深いことになりそうです。

本センターは、このような実験講座等を主に企画・実施していく科学技術教育支援事業部、更にPBL事業部・国際化教育事業部、キャリア教育推進事業部の4事業部で構成されており、本校の理念である「技術者の育成及び科学技術による地域社会への貢献」に深く関わっています。新年度を迎え、それぞれの事業部の活動を取り組みが始まっています。

地域の拠点から九州・沖縄地区の拠点センターへ

課題と向き合う



地域イノベーションセンター
センター長
清田 公保

今年度から熊本C、八代Cで5月に同時開催した「おもしろサイエンス・わくわく実験講座」。このイベントは、参加した子供たちの科学への興味・関心を喚起し理科離れを防ぐことや、ボランティアとして参加した学生のコミュニケーションスキルの向上・アクティブラーニング等による教育的効果を期待したイベントです。今回は、例年以上のボランティア学生の参加がありました。今後は、更に学生が主体的に企画・実施していく方向に進めていくことを考えて

います。

本センターは、この実験講座等を主に企画・実施していく科学技術教育支援事業部、更にPBL事業部・国際化教育事業部、キャリア教育推進事業部の4事業部で構成されており、本校の理念である「技術者の育成及び科学技術による地域社会への貢献」に深く関わっています。新年度を迎え、それぞれの事業部の活動を取り組みが始まっています。

学生諸君の中には、自分が得意なことが何か分からず、好き嫌いで判断している人が少なくないと思う。学生の間は、好き嫌いで判断せず、目の前の課題と誠実に向き合いながら自分の可能性を探ってほしい。課題と向き合う学生諸君を、技術・教育支援センターは、技術面でしつかりサポートします。

はじめて新学科から1期生が巣立つていった後、両キャンパスにフレッシュな新入生を迎えることができました。熊本高専の地域イノベーションセンターも、産官学連携の九州・沖縄地区の拠点校として、地域創発・研究開発推進、人材育成、知的財産拠点化の4事業を担うべく2009年に設置され、地域の人材育成と产学連携の事業として、「INVセンター・シンポジウム」、「半導体材料・デバイスフォーラム」、「e-ATフォーラム」、「新技術セミナー」などの地域創発事業や、地元企業の製品開発に対する高専生がアイデアを競う「閃きイノベーションくまもと2014」など地域と連動した多くの事業を展開してきました。本センターでは、これまでの取組みの成果を基盤として、さらに進化系のイノベーションを担う人材育成を目指して、熊本地域のみならず、九州・沖縄地区的高専や全国高専と連携しつつ、新しい知識と技術のイノベーションを起こす拠点として地方から全国、世界へ向けた情報発信ができる特色のある地域創発と産官学の地域連携による新たな取り組みを進めています。

今年も多くの中高生を迎えて、日本や世界の未来を担う技術者となるべく、日々研鑽を積む若者たちと刺激的な毎日を過ごしている。自分がどういった将来を迎えるのか、まったく予想のつかない中で、不安を持つ学生も少なくないであろう。自分のことを振り返ってみると、手先が決して器用ではない自分の特性を意識した記憶はないものの、目の前の課題を一つ一つクリアしていくうち、気が付いたら理論的な研究を行っている研究室に配属となり、現在のキャリアにつながってきた。

学生諸君の中には、自分が得意なことが何か分からず、好き嫌いで判断している人が少なくないと思う。学生の間は、好き嫌いで判断せず、目の前の課題と誠実に向き合いながら自分の可能性を探ってほしい。課題と向き合う学生諸君を、技術・教育支援センターは、技術面でしつかりサポートします。



新入生の皆さんへ

熊本キャンパス看護師

村上 明日加

入学から早いもので数か月が過ぎようとしています。

少しずつ熊本高専での生活に慣れてくれたことと思います。皆さんはもう保健室がどこにあるか覚えたでしょうか？

新年度がスタートし、皆さんの新鮮な気持ちが広がり、学校全体が生き生きとしていることを感じます。一方、新しい環境になじむまでは、自分でも気づかないうちに緊張し、疲れがたまつてくるのです。ちょっとと一休みが必要なとき、保健室をぜひ利用してください。

〈学生サロンのご紹介〉

★時と人に気兼ねなく、困つたらとにかく訪ねてみて下さい。（悩みの相談窓口）

★初めての寮生活で、なんとなく慣れない。さみしい。（ふれあいの場の提供）

★人との交流による会話やコミュニケーションによる気分転換。（ストレス解消の場）

★学年や学科を超えて情報交換。（人間関係の成立）

★心身の健康を保つための場所として活用しましょう！（健康の自己管理力を養う）

高専の過密スケジュールの中で、多くのストレスを抱えている学生の癒しの空間となっています。学習環境の教室から一歩離れてサロンで休憩をとることにより、疲労回復と気分転換を行い元気に過ごしましよう。



熱中症に注意しよう！

八代キャンパス看護師

山下 智子

暑い暑い夏。この季節に注意しなければならないのが、熱中症です。熱中症には、以下ののような病態があります。

熱けいれん…足や腕、お腹などの筋肉に痛みを伴つたけいれんが起こる。

熱疲労…大量の汗をかくことで脱水症状となり、脱力感、倦怠感、めまい、頭痛、吐き気などがみられる。

また、皮膚は青白く、汗でじっとりしている。

熱失神…血管の拡張により血液の循環が悪くなり、血圧の低下、脈がはやくて弱い、顔面蒼白、めまいや一時的な失神などが起こる。

熱射病…体温が放散されずに体内に蓄積され、中枢機能に異常をきたしている状態。皮膚は赤く発汗がなく

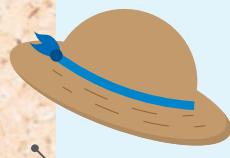
て乾燥、体温の異常な上昇、吐き気、めまい、意識障害、ショック症状などがあらわれる。

体を冷やす方法

◆太い血管のある部位に氷やアイスパックなどを当てる。

◆腋窩動脈…首の両サイドから当てる

◆全身に水をかけたり、濡れタオルを当てて、うちわなどであおぐ。



県民共済presents2015 なでしこ&キッズサッカー大会で優勝しました。

4月19日(日)、八代キャンパスのフットサル部女子が、県民共済presents2015なでしこ&キッズサッカー大会のカテゴリーA(大人・一般の部)で優勝しました。

3～5年生10名で出場した本校チームは、2勝1引き分けで予選リーグを勝ち上がり決勝戦に進みました。決勝戦では出水SCフラワーズと対戦し、同点の末、PK戦を制しました。



本校ロボコンチームが Kosen Robot Show USAに参加しました。(5/2-5/9)

全国高等専門学校ロボットコンテスト(高専ロボコン)2014で全国優勝を果たした本校八代キャンパスロボコンチームメンバーである機械知能システム工学科5年松下祐太君、同4年野田晃司君、そして技術・教育支援センターの吉田圭吾技術職員の3名が、アメリカ合衆国で開催された Kosen Robot Show USA(KRS-USA)に参加しました。

この催しは、高専教育の進化・発展につながる国際化・国際交流の推進のために実施され、全国から選抜された本校を含む3つの高専(仙台高専、鈴鹿高専)のロボコンチームが、コロンビア大学、ニューヨーク市立大学クイーンズ校、マサチューセッツ工科大学(MIT)の3つの大学で自作ロボットの実演を行ったものです。

本校参加者は2014年度全国高等専門学校ロボットコンテストで優勝、ロボコン大賞のダブル受賞を果たした「本気(マジ)の宅配便」の2分の1スケールのロボットを作製し、英語によるプレゼン、ロボットの実演を行いました。

今回のKosen Robot Show USAでは、ロボットをキャリーバックに積み込み、参加者自ら運搬を行うという初めての試みで、移動のたびにロボットにダメージを負い修理、調整に苦労しましたが、本番では素晴らしいプレゼンを披露し、日本の高専生の技術力の高さをアピールしました。

会場には多くの学生、教職員が集まり活発な質疑応答、交流が行われ、貴重な経験を積むことが出来ました。



ROBOMECH2015 in Kyotoで本校専攻科生が発表しました。(5/18)

日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門主催のロボティクス・メカトロニクス講演会 2015 (ROBOMECH2015 in Kyoto) で本校専攻科生の3名が発表しました。それぞれの発表に対して多くの質問や意見交換が行われていました。

発表者： 黒田 裕貴 君 専攻科 電子情報システム工学専攻 2年
タイトル：「Kinect を用いた頭部方向推定と精度評価」

発表者： 田上 朋和 君 専攻科 電子情報システム工学専攻 2年
タイトル：「感覚検査のための振動覚検査装置における振動発生器の加速度フィードバック制御」

発表者： 清川 拓哉 君 専攻科 電子情報システム工学専攻 2年
タイトル：「PSO を用いた前腕骨格モデルの非線形剛性パラメータ推定手法の提案」



社会に本当に役立つものづくり(社会実装)が、 ロボコンマガジン5月号で紹介されました。

世の中のニーズをとらえた社会に本当に役立つものづくり、そして、そのプロセスを社会と学校が評価する「社会実装」教育を本校では実践しています。熊本キャンパスでは、これまで黒石原支援学校の児童生徒を支援する教材や機器を継続的に開発していました。昨年度は、Ⅲ課程の児童生徒の円滑なコミュニケーションを図るために、目の動きを検出することでコミュニケーションを可能にするアプリを開発しました。

その取り組みを2015年3月6日～7日に開催された「KOSEN 発“イノベーティブ・ジャパン”プロジェクト」で発表しました。その結果、立山さんの発表は、「社会実装大賞」と発表者の相互投票によって決定する「ピアレビュー賞」を受賞しました。このコンテストの様子が、ロボコンマガジン5月号Focus(ヒト×テクノロジー)「高専生が提案する新たな社会 2014年度社会実装コンテスト開催」で紹介されています。記事では、アプリケーション開発の経緯や、動作原理、4ヶ月の使用期間を経ての評価などがまとめられています。

必要とされている課題をユーザ目線で発見し、実装、評価を行う社会実装型の研究は、高専学生の高い開発力を活かして社会に貢献する一つの形です。



News & Topics

革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～

第10回切削加工ドリームコンテストに出品しました。(2/20)

平成25年度より運用を開始した5軸制御マシニングセンタの活用とスキルアップを目的とし、機械知能システム工学科の学生および教職員でチームを編成して、DMG森精機主催の第10回切削ドリームコンテストに初めて応募しました。

3Dモデルは学生がモデリング技術を駆使して作成し、加工データは技術職員が作成して、約100時間をかけてアルミのブロック材を削りだして製作しました。アンダーカット部が多いため干渉を避けつつ、美しい曲面に仕上げるのに大変苦労しました。アカデミック部門での上位入賞はならなかったものの、チャレンジ賞を頂きました。今後も様々なニーズに応えられるようチャレンジを続け、加工ノウハウの蓄積、技術力アップを目指していきます。

なお、応募作品はパンフレットに掲載され、過去の受賞作品はこちら(<http://www.dmgmorisieki.co.jp/dreamcontest/index.html>)より閲覧できます。



建築社会デザイン工学科1年生が犬矢来型車止めを寄贈しました。(3/11)

3月11日(水)、建築社会デザイン工学科1年生が授業「創造演習」で製作した「犬矢来」型車止めを10基、八代市のまちなか活性化協議会に寄贈しました。1年生を代表し6名が直接、商店街に赴き、作品に込めた思いを述べた上で贈呈しました。

「犬矢来」は、町家の通り沿いの足下に設置する竹や木でできた設備で、人が家に近づきすぎないように、雨や犬の小便などから家を守るために設置されます。

「犬矢来」型車止めの目的は、商店街の空地・空店舗の前に設置することで、八代の城下町のまちなみ、町家の風情を演出することであり、まちなか活性化協議会よりこの点を理解頂いたことにより、今回の寄贈につながりました。

八代の旧町人地では、現在でも全体の約4割が町家のつくりを継承していますが、すっかり城下町の面影が失われているように見えます。また八代妙見祭のユネスコ無形文化遺産登録も控えています。祭りが似合う城下町の風景が見直されるきっかけになればと考えます。



テクノルネサンス・ジャパンにおいて「Under Bachelor賞」を受賞しました。(3/12)

日本経済新聞社主催で開催されている「企業に研究開発してほしい未来の夢」アイデア・コンテスト（愛称：テクノルネサンス・ジャパン）は、日ごろ思い描くアイデアと企業の技術や事業を組み合わせたらどんな画期的なことができるかを考え、参加企業が示す各社の募集テーマと技術情報をもとに、「企業に研究開発してほしい未来の夢」を提案するコンテストです。（テクノルネサンス・ジャパンHP参照）

第7回となる今年度も複数の企業から募集テーマが提示され、多数の応募がありました。その中で、大日本印刷のテーマに応募した制御情報システム工学科3年の坂田慧梧君がUnder Bachelor賞を受賞しました。

タイトルは「絵本作成アシストシステム」で、絵の情報によって絵本作りを容易にし、小さな子どもでも絵本を作成できるシステムの提案です。

受賞おめでとうございます。坂田君には、後日、制御情報システム工学科 大塚学科長より表彰状が授与されました。



熊本高専に関する最新のニュースは、熊本高専の公式Webサイト

<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/> をご覧ください。

行事予定

Event Calendar

8月▶12月

熊本キャンパス

8 August
月

- 7/23(木)～7/29(水)
7/27(月)～7/31(金)
8(土)
13(木)～9/23(水)
15(土)～30(日)
- 前期定期試験(専攻科)
前期定期試験(1～5年)
夏季オープンキャンパス
夏季休業
全国高専体育大会

9 September
月

- 16(水)～18(金)
24(木)
- 国際工学研究集会(長岡市)
後期授業開始

10 October
月

- 1(木)～7(水)
11(日)～12(月)
14(水)
18(日)
22(木)
24(土)～25(日)
- 学位授与申請(専攻科)
全国高専プログラミングコンテスト(長野高専)
学校説明会(中学校・塾向け)
ロボコン2015地区大会(佐世保)
保護者懇談会・寮生保護者懇談会
電波祭・秋季オープンキャンパス

11 November
月

- 14(土)～15(日), 17(火)
23(月)
25(水)～12/1(火)
- 九州沖縄地区高専大会(ラグビー)
高専ロボコン2015全国大会(国技館)
後期中間試験

12 December
月

- 7(月)
24(木)～1/4(月)
- インターンシップ成果報告会(予定)
冬季休業

八代キャンパス

8 August
月

- 7/27(月)～7/31(金)
7/29(水)～8/4(火)
12(水)～9/23(水)
15(土)～30(日)
- 前期期末試験(5年)
前期期末試験(1～4年、専攻科)
夏季休業
全国高専体育大会

9 September
月

- 4(金)～6(日)
16(水)～18(金)
24(木)
- 保護者懇談会(個人面談)
国際工学研究集会(長岡市)
後期授業開始

10 October
月

- 1(木)～7(水)
3(土)
5(月)～10(土)
11(日)～12(月)
18(日)
23(金)
30(金)～11/2(月)
- 学位授与申請(専攻科)
オープンキャンパス
4年生海外研修および工場見学旅行
全国高専プログラミングコンテスト(長野高専)
ロボコン2015地区大会(佐世保)
学校説明会(中学校・塾向け)
高専祭

11 November
月

- 14(土)～15(日), 17(火)
23(月)
25(水)～12/1(火)
- 九州沖縄地区高専大会(ラグビー)
高専ロボコン2015全国大会(国技館)
後期中間試験

12 December
月

- 24(木)～1/5(火)

冬季休業



編集後記

今年も新入生を迎えた熊本高専は、新しいエネルギーに満ち溢れています。本紙では、彼らの活き活きとした様子を伝えたいという思いで編集をしました。先輩たちとともに、大きく成長してくれることを願っております。



革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～
熊本高等専門学校

National Institute of Technology, Kumamoto College

独立行政法人 国立高等専門学校機構

熊本高等専門学校

熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋 2659-2 TEL 096-242-2121

八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町 2627 TEL 0965-53-1211